

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校岡山自動車大学校
設置者名	学校法人 第一原田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門	一級自動車整備科	夜・通信	4,602 時間	320 時間	
工業専門	二級自動車整備科	夜・通信	2,240 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校にて閲覧可能
----------

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校岡山自動車大学校
設置者名	学校法人 第一原田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページに掲載（ <a href="https://www.okajidai.com/00top/pdf/5-yakuin.pdf">https://www.okajidai.com/00top/pdf/5-yakuin.pdf</a> ）
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	一字工業株式会社 取締役 会長	R4. 5/28 ~ R8. 5/27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校法人運営への参画及び理事会における意志決定。</li> <li>・企業経営者視点での組織経営、人材育成への助言等。</li> </ul>
非常勤	笠岡第一病院 理事長	R4. 5/28 ~ R8. 5/27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校法人運営への参画及び理事会における意志決定。</li> <li>・病院経営者視点での組織経営、人材育成への助言等。</li> <li>・医師による教職員、生徒への健康・精神衛生管理への助言等。</li> </ul>
(備考)			
他、学外者である理事は1名			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校岡山自動車大学校
設置者名	学校法人 第一原田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画は昨年度の授業計画(教育計画進行表)を元に3月に実施する職業実践専門課程カリキュラム編集委員会での意見を参考に各教科担当教員が作成し、職員会議にて再度協議し内容を確定している。</p> <p>作成時期は前年度末(3月)、学生への公表は年度初め(4月)の新入生ガイダンス、2・3・4年生は4月最初のホームルームにて行う。</p> <p>また下記ホームページにて一般公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.okajidai.com/00top/syllabus.php">https://www.okajidai.com/00top/syllabus.php</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本校は国土交通省指定の自動車整備士一種養成施設であり、実技試験免除にて自動車整備士国家資格を受験するために、二級自動車整備士養成課程(1・2年次)及び一級自動車整備士養成課程(3・4年次)にはそれぞれ1,800時間の専門科目履修が必須となっている。</p> <p>本校では必履修時間に対し約20%増しの授業を実施し、5分単位で出席時間を管理している。病気等やむを得ない理由で欠席し時間数が不足する場合は有償にて補習を行い、必履修時間が補填できた場合には進級・卒業を認定している。</p> <p>試験及び成績評価は学則第21・22・23条、細則第7条に従い実施し、結果は優・良・可・不可で判定し、不可の場合は再試験を実施し卒業・進級を認定している。また個々人の学習到達度に合わせ必要に応じて夏期休業等を利用し、無償にて補習授業を行っている。</p> <p>時間数不足または定期試験が不可の場合、保護者に連絡し必要に応じて保護者懇談を持ち、本人の学習意欲の確認を行っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は学則第 23 条、細則第 7 条に従い 100 点満点で 80 点以上を優、70 点から 79 点を良、60 点から 69 点を可とし 59 点以下を不可としている。学科定期試験科目は学年・前期・後期で若干の差はあるが二級自動車整備科では一般科目・専門科目合わせて 15～17 科目、一級自動車整備科 3 年次では 12～14 科目実施している。(4 年次は実習のみ)</p> <p>実習の成績評価は全学年において各実習到達段階での小テスト、実技テストを実施し、実習履修態度も考慮し優・良・可・不可で評価を行っている。</p> <p>成績の分布状況は学科・実習全科目の評価・成績一覧表を作成し、それぞれ学級、学年で順位を算出している。また学期末には個人成績表を作成し保護者に郵送し確認を得ている。</p> <p>上記成績指標は学則に記載されておりホームページにて公表している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<a href="https://www.okajidai.com/00top/pdf/shiryou-3.pdf">https://www.okajidai.com/00top/pdf/shiryou-3.pdf</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>所定の科目を修了したときは卒業とし、卒業証書を授与する。(学則第 26 条)なお科目修了には卒業試験を実施し合格する必要がある。評価基準は定期試験と同様である。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<a href="https://www.okajidai.com/00top/pdf/shiryou-3.pdf">https://www.okajidai.com/00top/pdf/shiryou-3.pdf</a>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校岡山自動車大学校
設置者名	学校法人 第一原田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	開示請求があれば随時閲覧可能
収支計算書又は損益計算書	開示請求があれば随時閲覧可能
財産目録	開示請求があれば随時閲覧可能
事業報告書	開示請求があれば随時閲覧可能
監事による監査報告（書）	開示請求があれば随時閲覧可能

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門	一級自動車整備科	—	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,889 単位時間/単位	1,408 単位時間 /単位	240 単位時間 /単位	3,368 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			5,016 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		142人	0人	10人	2人	12人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門	二級自動車整備科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,889 単位時間/単位	880 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,496 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,376 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		47人	0人	10人	2人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）  授業科目は国交省の基準に従い作成しており、カリキュラム及びシラバスはホームページにて公表している。
---

成績評価の基準・方法 (概要)
学則に従い、定期試験と平素の授業履修状況によって行う。
卒業・進級の認定基準 (概要)
学則に従い、各学年において所定の科目を履修した者は次の学年へ進級を認める。所定の科目をすべて修了したときは卒業とする。
学修支援等 (概要)
担任制を導入し、入学時4月に担任との二者面談。12月に保護者、学生、担任との三者面談。1年次、保護者参観日、学校開放デー後、希望者とは担任との三者面談。 また、成績不良者には夏期休業、放課後等を利用し、無償にて補習授業を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
一級自動車整備科			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	0人 (%)	11人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等)			
自動車整備会社			
(就職指導内容)			
1年次10月就職ガイダンス、17コマの就職対策授業、放課後に個別面接指導対策、会社訪問届、会社訪問報告、受験報告の提出の義務づけ。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、一級小型自動車整備士、中古車査定士、危険物取扱者、損害保険募集人			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
115 人	2 人	1.7 %
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 遅刻・欠席の管理指導。学生・保護者との懇談。カウンセリング。		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
二級自動車整備科			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17 人 (100%)	0 人 ( %)	17 人 (100%)	0 人 ( %)
(主な就職、業界等) 自動車整備業界			
(就職指導内容) 1 年次 1 0 月就職ガイダンス、1 7 コマの就職対策授業、放課後に個別面接指導対策、会社訪問届、会社訪問報告、受験報告の提出の義務づけ。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、中古車査定士、危険物取扱者、損害保険募集人			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 遅刻・欠席の管理指導。学生・保護者との懇談。カウンセリング。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
一級自動車整備科	200,000 円	500,000 円	400,000 円	施設設備費、実習費
二級自動車整備科	200,000 円	500,000 円	400,000 円	施設設備費、実習費
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・兄弟入学者の学納金一部免除</li> <li>・寮生特待生の学納金一部免除</li> </ul>				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<a href="https://www.okajidai.com/00top/pdf/1-jikohuouka.pdf">https://www.okajidai.com/00top/pdf/1-jikohuouka.pdf</a>
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
<p>学校関係者評価委員会を年1回開催する。実践的かつ専門的な職業教育を実践するにあたり、学校関係者による評価を実施し、自己評価結果の客観性・透明性を高める。学校関係者との理解促進や連携協力を図るとともに、助言・意見などの評価結果を教育活動および学校運営の改善に活用する。</p> <p>学校法人評議委員、自動車整備業界団体、関連企業から委員を選出し、現在委員は6名である。</p> <p>主な評価項目として、以下の10項目について評価を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教育理念・目的・人材育成像</li> <li>(2) 学校運営</li> <li>(3) 教育活動 (教育課程)</li> <li>(4) 教育成果</li> <li>(5) 学生支援 (進路指導) 及び保護者との連携</li> <li>(6) 教育環境</li> <li>(7) 学生募集・受入・入試制度</li> <li>(8) 財務</li> <li>(9) 法令等の遵守</li> <li>(10) 社会貢献</li> </ol> <p>学校関係者評価委員会を9月に実施し、3月の教育課程編成委員会で評価結果を踏まえた改善策を協議し、新年度のカリキュラムに反映する。責任者は委員長が務める。</p>



学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校法人第一原田学園 評議委員	R3. 7. 1～R5. 6. 30	有識者
一般社団法人 岡山県自動車整備振興会	R2. 7. 1～R4. 6. 30	職能団体
自動車販売店社員	R4. 3. 1～R6. 2. 28	関連企業
自動車販売店社員	R4. 3. 1～R6. 2. 28	関連企業
自動車販売店社員	R2. 7. 1～R4. 6. 30	関連企業
自動車販売店社員	R3. 7. 1～R5. 6. 30	関連企業
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
<a href="https://www.okajidai.com/00top/pdf/2-gakkoukankei.pdf">https://www.okajidai.com/00top/pdf/2-gakkoukankei.pdf</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p><a href="https://www.okajidai.com">https://www.okajidai.com</a></p>
---